

2026年度 長岡大学シラバス

| | | | | | | | | |
|---------------------------|-----------------------|-------------|-------------|-----|------|------|----------------------|--------------------------------|
| 授業科目名 | ゼミナールⅢ (Seminar Ⅲ) | | | | | 担当教員 | 高橋 哲郎 (タカハシ テツロウ) | |
| 2020-23年度 入学者(20K-23K) | 科目コード | 科目区分 | 必修・ 選択区分 | 単位数 | 配当年次 | 開講期 | 科目 特性 | 協同学習型 AL/課題解決型 AL /外部講師招聘科目 |
| | 2025-0-31-060 | ゼミナール 科目 | 必修 | 2単位 | 3年次 | 通年 | | |
| 2024-26年度 入学者(24K-26K) | 科目コード | 科目区分 | 必修・ 選択区分 | 単位数 | 配当年次 | 開講期 | 科目 特性 | 協同学習型 AL/課題解決型 AL /外部講師招聘科目 |
| | 2425-0-31-005 | ゼミナール 科目 | 必修 | 2単位 | 3年次 | 通年 | | |

| | | | | | | |
|---|----------------------|---------------------------------|----------------------------|----------------------------|--------------------------------|----------------------------|
| ① 授業のねらい・概要 | | | | | | |
| <p>長岡市には、例えば食料品・機械器具・金属製品・繊維など、他地域に誇れる産業・企業が存在している。しかし、PR不足を主因に、認知度が低い産業・企業も少なくない。その結果、市内企業に就職する学生も限定的である。そこで、長岡市の優れた産業・企業の認知度を高める活動を行う。</p> <p>まず、統計資料・HP等を参考に、長岡市の産業とその特徴、代表的な企業とその企業の強み、ビジネスモデル等の知識を得る。次に、積極的に企業見学・ヒアリングを行い、現場を見る・聞く・考えることで、産業・企業への理解を深める。その後、それまでの活動内容を基に、産業・企業の誇れる点、すなわち「強み」を探し出し、そのPR手法を検討・実行する。加えて、企業経営・ビジネスモデルに関する知識の深化と実践を目的として、ビジネスプランを自ら構築する演習・発表等を行い、その成果をビジネスコンテスト・起業関連コンテストへ応募することを推奨する。</p> <p>長岡市の産業・企業の知識習得、「強み」発見、「見える化」の過程を通して、社会人基礎力を高めていく。また、「5つの力」(聴く力・話す力・書く力・考える力・時間力)を鍛え、就職活動に資する力、社会人に必要な基本スキルを高める。</p> | | | | | | |
| ② ディプロマ・ポリシーとの関連 | | | | | | |
| 1 地域社会に貢献する姿勢 / 2 職業人として通用する能力 / 3 専門的知識・技能を活用する能力 / 4 コミュニケーション能力 / 5 情報収集・分析力を養う | | | | | | |
| ③ 授業の進め方・指示事項 | | | | | | |
| <p>正当な理由のない遅刻・途中退席は認めない。</p> <p>学生の意見を取り入れつつ講義を進める。積極的な意見表明を期待する。</p> | | | | | | |
| ④ 関連科目・履修しておくべき科目と履修に望ましい予備知識・技能 | | | | | | |
| 「地域活性化論」、「起業家塾」の受講を推奨する。 | | | | | | |
| ⑤ テキスト(教科書)※授業で使用する。 | | | | | | |
| テキスト指定なし。必要に応じて授業時に資料を配布する。 | | | | | | |
| ⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。 | | | | | | |
| <p>須田寛 (2015)『産業観光—ものづくりの観光』交通新聞社</p> <p>その他、テーマに関連した参考文献や関連情報を必要に応じ紹介する。</p> | | | | | | |
| ⑦ 担当教員からのメッセージ(昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等) | | | | | | |
| 学生の理解度・適性を確認しながら、運営していく。 | | | | | | |
| ⑧ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安 | | | | | | |
| <p>(1) オープンファクトリーを理解・説明することができる。</p> <p>(2) 成果発表会に向けた発表資料を作成し、プレゼンテーションを実施することができる。</p> <p>(3) 活動報告書を作成することができる。</p> | | | | | | |
| ⑨ ルーブリック | | | | | | |
| 評価基準 | | S | A | B | C | D |
| 評価項目 | | 到達目標を越えたレベルを達成している | 到達目標を達成している | 到達目標達成にはやや努力を要する | 到達目標達成には努力を要する | 到達目標達成には相当の努力を要する |
| (1) | オープンファクトリー の理解・説明 | 新たな手法を用いて、論理展開に必要な調査を実施することができる | 自発的に、論理展開に必要な調査を実施することができる | 論理展開に必要な調査を実施することができる | 指示された範囲で、論理展開に必要な調査を実施することができる | 指示された範囲の、論理展開に必要な調査が不十分である |
| (2) | プレゼンテーションの 実施 | 聴衆を引きつけるプレゼンテーションができる | 聴衆に正確に理解されるプレゼンテーションができる | 聴衆に理解されるプレゼンテーションができる | 聴衆にプレゼンテーションの内容がほとんど理解されない | 聴衆にプレゼンテーションの内容が理解されない |
| (3) | 報告書の作成 | 他人を引きつける報告書を作成することができる | 論理が通った報告書を作成することができる | 報告書を作成することができるが、一部不足する点がある | 報告書を作成することができるが、不足する点がある | 報告書を作成することができない |

| ⑩ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法 | | | | | | | | |
|---|--|-------------------------|-----|-----------|-----------------|-----|------|------|
| 学習到達目標（評価項目） | 定期試験 (レポート含む) | 小テスト | 課題 | 発表・ 実技 | 授業への 取組姿勢・意欲 | その他 | 合計 | |
| 総合評価割合 | | | 30% | 30% | 10% | 30% | 100% | |
| (1) オープンファクトリーを理解・説明することができる。 | | | 10% | 10% | 3% | 10% | 33% | |
| (2) 成果発表会に向けた発表資料を作成し、プレゼンテーションを実施することができる。 | | | 10% | 10% | 4% | 10% | 34% | |
| (3) 活動報告書を作成することができる。 | | | 10% | 10% | 3% | 10% | 33% | |
| 評価項目「その他」詳細 | オープンファクトリー、企業見学・視察・アンケート調査等への参加状況、ヒアリングシート・発表準備資料・報告書原稿等の提出状況、ゼミ活動への協力度・役割遂行状況を総合的に評価する。 | | | | | | | |
| フィードバックの方法 | 初回講義内で、成績評価の方法・基準、講義の進め方等について、具体的に説明するので、出席すること。 | | | | | | | |
| ⑪ 授業計画と学習課題 | | | | | | | | |
| 回数 | 授業の内容 | 授業外の学習課題と時間（分）（※特別な持参物） | | | | | | |
| 1 | ゼミⅢの概要説明 自己紹介 | 昨年の取組確認 | | | | | | 180分 |
| 2 | 今年の活動内容決定 工場見学準備 | ヒアリング先調査、質問検討 | | | | | | 180分 |
| 3 | 工場見学①（予定）長岡市内製造業 | ヒアリングシート作成 | | | | | | 180分 |
| 4 | 工場見学振り返り きものGOTTAKU視察準備 | ヒアリング先調査、質問検討 | | | | | | 180分 |
| 5 | きものGOTTAKU視察準備 | ヒアリング先調査、質問検討 | | | | | | 180分 |
| 6 | きものGOTTAKU振り返り | ヒアリングシート作成 | | | | | | 180分 |
| 7 | 工場見学準備 | 発表準備 | | | | | | 180分 |
| 8 | 製造業へのアンケート調査 | ヒアリング先調査、質問検討 | | | | | | 180分 |
| 9 | 工場見学②（予定）長岡市内製造業 | ヒアリングシート作成 | | | | | | 180分 |
| 10 | 工場見学振り返り 悠久祭出店検討 | 悠久祭出店準備 | | | | | | 180分 |
| 11 | 工場見学準備 | ヒアリング先調査、質問検討 | | | | | | 180分 |
| 12 | 工場見学③（予定）長岡市内製造業 | ヒアリングシート作成 | | | | | | 180分 |
| 13 | 工場見学準備 工場見学振り返り | ヒアリング先調査、質問検討 | | | | | | 180分 |
| 14 | 工場見学④（予定）長岡市内製造業 | ヒアリングシート作成 | | | | | | 180分 |
| 15 | 工場見学振り返り ビジネスプランの作成 | ヒアリングシート作成 | | | | | | 180分 |
| 16 | 後期の活動内容確認 「工場の祭典」視察準備 | ヒアリング先調査、質問検討 | | | | | | 180分 |
| 17 | 「工場の祭典」視察準備 | ヒアリング先調査、質問検討 | | | | | | 180分 |
| 18 | 悠久祭準備 製造業へのアンケート調査 | 悠久祭準備 アンケート票作成 | | | | | | 180分 |
| 19 | 悠久祭準備 製造業へのアンケート調査 | 悠久祭準備 アンケート票作成 | | | | | | 180分 |
| 20 | 悠久祭準備 製造業へのアンケート調査 | 悠久祭準備 アンケート票作成 | | | | | | 180分 |
| 21 | 発表会準備（パワポ作成） | 発表用パワーポイント作成 | | | | | | 180分 |
| 22 | 発表会準備（パワポ作成） | 発表用パワーポイント作成 | | | | | | 180分 |
| 23 | 発表会準備（発表練習） | 発表用パワーポイント作成 | | | | | | 180分 |
| 24 | 中間レビュー | 発表練習 | | | | | | 180分 |
| 25 | 発表会準備（発表練習） | 発表練習 | | | | | | 180分 |

| | | | |
|----|-------|-------|------|
| 26 | 報告書作成 | 報告書作成 | 180分 |
| 27 | 報告書作成 | 報告書作成 | 180分 |
| 28 | 報告書作成 | 報告書作成 | 180分 |
| 29 | 報告書作成 | 報告書作成 | 180分 |
| 30 | 報告書作成 | 報告書作成 | 180分 |

⑫ アクティブラーニングについて

協同学習型AL・課題解決型ALを採用する。
 資料調査・企業ヒアリングを基にした発表・ディスカッション等を通じて、学生自ら産業・企業の強み・課題を探求し、製造業の「見える化」案を構築する。
 また、ビジネスプランの作成、ブラッシュアップ、ビジネスコンテストへの参加により、ビジネスモデルの知識の実践を目指す。

※以下は該当者のみ記載する。

| |
|--------------------|
| ⑬ 実務経験のある教員による授業科目 |
| 実務経験の概要 |
| |
| 実務経験と授業科目との関連性 |
| |